

📌 キッズコメントの主な意見

政策目標1 子どもの笑顔があふれる街

意見の概要	市の考え方
<p>保育所整備事業</p> <p>○保育所定員4,000人分の拡大について、待機児童が増えている現状だけではなく、将来少子化が進んでいくことを考えて進めて行った方が良いのではないか。</p>	<p>札幌市においては少子化傾向が進んでいる状況ではありますが、社会情勢や経済状況などさまざまな要因から保育需要は年々高まっています。計画に掲げている保育所定員増は、このような現状を踏まえつつ、就学前児童数の推移、過去の待機児童数などの傾向から、今後4年間で確保が必要と判断したものです。保育所整備については、各年度の状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。</p>
<p>放課後の居場所</p> <p>○児童会館は小学校低学年の子どもが多くて、中学生があまり遊べないので、もっと幅広い年齢層の子どもが楽しく遊べる施設にしてほしい。</p> <p>○児童会館や地区会館などを一緒にまとめれば、世代を超えての交流も増えて、街の雰囲気も今よりもっと良くなると思う。</p>	<p>児童会館では週2回開設時間を延長し、中高校生の夜間利用「ふりーたいむ」（中学生は19時、高校生は21時まで）を実施しています。また、児童会館では子ども運営委員会を設置し、子どもたち自身による児童会館利用のルールづくり、各種事業の企画運営などを行い、各年齢層の子どもが楽しめる施設になるよう努めているところです。</p> <p>地域で世代を超えた交流を進めるため、児童会館やミニ児童会館でも、地域の高齢者と子どもたちが、昔の遊びなどを通じて交流できる機会をつくっています。今後とも交流促進に努めていくとともに、既存の児童会館や地域の施設を建て替える場合には、いただいたご意見を参考に検討したいと思います。</p>
<p>不登校の子どもへの支援</p> <p>○小学校の頃にいじめにあったことがあるので、学校などでいじめが全く無い街にしてほしい。</p> <p>○不登校の子どもたちは理由があって学校に行けないのだから、支援センターやフリースクールを設置する前に学校が何か手を打つべきではないか。</p>	<p>「いじめは人間として絶対に許されない」という考えの下、いじめがなくなるよう学校や子どもたちに働きかけを続けています。計画では、これまでいじめにあったことがあるなど、悩みを抱えている子どもたちの相談に応じて早期に解決できるよう、小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を増加することとしています。今後もしじめがなく人にやさしいまちづくりに努めていきます。</p> <p>学校では、定期的に家庭訪問するなどして本人や保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもに応じた支援に努めています。すぐに学校に登校できない場合などは、学校外の施設に通うことで、人とかわり、登校への意欲が高まることを期待しており、その場合においても学校が関係機関と連携しながら本人を支援していきます。</p>
<p>子どもの参加体験機会の充実</p> <p>○子どもが、もう少したくさん遊ぶことができるイベントがあったら良い。例えば、科学に関することでもおもしろい作品を作り、最後に遊ぶことができるなどのイベントを企画してほしい。</p>	<p>計画では、子どもの自主性や創造性、協調性を育むため、子どもが楽しみながらいろいろな体験ができるものとして、「青少年科学館展示物整備事業」や「プレーパーク推進事業」「さっぽろ雪まつり魅力アップ事業」などさまざまな事業を行うこととしています。いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>○「子どもの主体的な活動を応援」するなら、プレーパークのようなものを行う前に、市内の公園における禁止事項を減らしてはどうか。</p>	<p>公園は、小さな子どもからお年寄りまでいろいろな方が、多種多様な目的で利用していますので、利用される方々が安全かつ快適に利用できるためのルールを定めています。また、「プレーパーク推進事業」については、子どもたちを見守る「プレーリーダー」を必ず配置するなどして安全の確保や他の利用者とのトラブル防止を図った上で、子どもたちができるだけ自由に遊べるように実施するものです。</p>

政策目標2 安心して暮らせるぬくもりの街

意見の概要	市の考え方
<p>防災対策の充実</p> <p>○防災体制の充実強化は、今すぐにでもするべき。避難場所の確認など、やっていないことも多いし、お年寄りや小さい子どもなどがある家庭にも避難場所がしっかり分かるような対策をするべきではないか。</p> <p>○防災体制の充実が必要なことだが、実施に合わせてもっと防災のPRをしていくべきではないか。</p> <p>○市役所・区役所・避難所に災害時に食べるために長期保存できるものや水を置いてはどうか。</p>	<p>計画では、東日本大震災を踏まえて、必要な防災対策を充実させるための事業を盛り込みました。</p> <p>なお、お近くの避難場所は、各区役所で配布している「地震防災マップ」「洪水ハザードマップ」「各区ガイドマップ」に記載しているほか、ホームページにも掲載しているところです。今後も避難場所のPRに努めていきます。</p> <p>防災については、広報誌、パンフレット、広報番組、シンポジウム、出前講座、コミュニティFMなど、多様な媒体や手法を用いてPRをしているほか、「札幌市民防災センター」では災害模擬体験を通じた学習を行うなど普及啓発に努めているところです。今後もこれらの取り組みを充実させていきます。</p> <p>札幌市では地震等の災害に備え、避難場所の備蓄庫等168箇所に、食糧約17万食を配置するとともに、緊急貯水槽等を整備し、地震発生直後の3日間に最低限必要な1人1日3リットルの飲料水を約90万人分確保しています。この計画では、備蓄食糧や緊急貯水槽の数を増やし、これまでの備えをさらに強化します。また、備蓄食糧の具体的な品目や配置方法については、今後検討を進めていきます。</p> <p>なお、備蓄物資の内容を明らかにするため、事業内容の記述にその旨を加えます。</p>
<p>高齢者支援</p> <p>○災害対策以外にも安心という観点で、他のことも取り入れてほしい。例えば、お年寄りが子どもとふれあうことで、「次の世代を安心して任せられる」と感じられるような交流の場を設けてはどうか。</p>	<p>計画にある「はつらつシニアサポート事業」では、高齢者団体などが自主的に地域貢献活動等を行うための拠点である「サロン」への支援を行うこととしていますが、「サロン」には、子どもたちと一緒に活動するなど交流を深めているところもあります。</p> <p>また、幼稚園や小学校の学習の中で近所のお年寄りに昔の遊びを教えてもらうことや、中学校や高等学校の職場体験学習で老人ホームを訪問するなど交流の場を設け、多世代が理解し合えるような環境づくりに努めています。</p>
<p>雇用施策の充実</p> <p>○職業相談・紹介窓口の拡大について、就職率がとても悪い中で、そのような相談窓口を拡大したところで働き口が増えないと意味がないのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、働き口を増やすことは大切だと考えており、計画でも企業支援など産業を活性化させる取り組みを進めることとしています。</p> <p>一方で、職業相談窓口でいろいろな相談を受け、その人に合った職を紹介していくことで、仕事が見つかる場合もたくさんあります。また、仕事を探している人は、仕事が決まるまで、何度もハローワークなどに通う必要があり、その負担を少しでも和らげるためにも、身近な区役所などに、職業相談・紹介窓口を増やすことが必要だと考えています。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>地域の防犯</p> <p>○不審者情報が多いので、安心して生活ができるように警備を増やすなどの対策をしてほしい。</p>	<p>不審者情報が多い地域には、警察に対して、パトロールの強化を依頼するなど、相互の連携を進めていきます。また、地域の見守り活動を行う防犯活動団体に対する情報提供や犯罪に遭遇しないための防犯教室の開催などの取り組みを通じて、安全で安心なまちづくりに努めていきます。</p>
<p>道路環境の整備</p> <p>○学校から安全に帰宅できるように、通学路を中心に、明かりが少ない道路に街灯を増やしてほしい。</p>	<p>生活道路の街路灯については、札幌市で設置しているほか、町内会等による設置に対しては助成を行うことにより、整備を進めています。また、街路灯の整備方針の中では、学校などの公共施設周辺を優先的に設置する場所と位置づけ、特に安全確保に努めているところです。</p>
<p>除排雪施策</p> <p>○冬の歩道は道が狭すぎてすれ違うことさえ大変なので、歩道に雪を積み上げるのはやめてほしい。車道だけではなくて歩道も除雪してほしい。</p>	<p>除雪した雪を運び出す排雪作業は費用と時間がかかるため、交通量の多い道路やバス路線などに限られてしまいます。歩道の除雪については、歩道用の除雪車が入れる幅2m以上の歩道のうち、地下鉄・JRの駅や公共施設周辺など、人通りの多い歩道を中心に行っているところです。</p> <p>なお、計画では、市民の方々の参加の下、地域ごとの特性やニーズに配慮した除雪等の取り組みを進めていく予定です。</p>

政策目標3 活力みなぎる元気な街

意見の概要	市の考え方
<p>産業の活性化</p> <p>○もっとお店をたくさんつくってほしい。</p>	<p>新しくお店を始めたり、今あるお店を長く続けていくために、さまざまな相談や勉強会などの支援を受けられるしくみを作るほか、資金調達や販路拡大の支援を行うことで、お店がたくさんできる環境づくりを進めていきます。</p>
<p>観光の魅力づくり</p> <p>○観光施策について、雪まつりだけではなく、自然を全面的に活かしていくべき。春には桜や梅、秋には紅葉などを目的とする観光客を集めることができるようにしてはどうか。</p>	<p>札幌および周辺部の豊かな自然は札幌の観光において、魅力的な資源の一つです。花や紅葉などの季節の魅力や、登山やスキーなどの遊びの魅力が、札幌の魅力として広く伝わるようPRに努めていきます。</p>
<p>(仮称) 市民交流複合施設の整備</p> <p>○(仮称) 市民交流複合施設は、教育文化会館やニトリホールもあるのだから、似たようなものになるのなら、新しく造る必要はないのではないか。</p> <p>○(仮称) 市民交流複合施設の建設は劇を見たり、オーケストラを聴いたり、みんなの心を豊かにすることができるので賛成。</p>	<p>(仮称) 市民交流複合施設のホールは、将来的にニトリ文化ホールの役割を受け継ぐことも念頭に置き、これまで教育文化会館や市民ホールでは見ることができなかった大規模な公演や国内外の優れた公演も見ることができるホールにする予定です。</p>
<p>路面電車延伸推進事業</p> <p>○「市電のループ化」には反対。ループ化するには費用がかかるし、ループ化しなくても、歩いて行けると思う。「札幌駅前通地下歩行空間」ができたので、それ以上費用を無駄にしないほうが良い。</p> <p>○結構、市民は市電を利用するので、市電のループ化は必要だと思う。</p>	<p>路面電車は、道路から直接乗り降りができ、お年寄りや観光客など、誰でも気軽に利用できる交通機関であり、ループ化により路線をつなげることで都心部の回遊性が高まり、今よりも利用しやすくなると考えています。</p> <p>また、車両や停留場などの施設のデザインを工夫するなど、札幌の街の特徴の一つとして、一層魅力を高めることができるよう努めていきます。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>公共交通の充実</p> <p>○バス路線を増やして、いろいろなところへ行けるようにしてほしい。</p>	<p>バスの経路や便数については、バス事業者が、利用者の需要や運行に係る費用などを検討した上で決定しています。今あるバス路線を守るためにも、さらに利便性を高めるためにも、多くの皆さんに利用していただくことが欠かせません。自家用車に頼りすぎず、積極的に公共交通機関を利用していただけるよう、普及啓発に努めていきます。</p>
<p>総合的な駐輪対策の推進</p> <p>○都心では自転車の駐輪場が少なく、有料であったり、駐輪禁止となっているため、無料の駐輪場を市街地にたくさん建設してほしい。自転車利用が増えることで、自動車の利用が減り、環境にも良くなり、街も身近になるので、都心部が活性化すると思う。</p>	<p>都心部における駐輪対策としては、公共駐輪場の整備検討や官民協働手法による駐輪容量の確保を進めます。都心部の放置自転車対策は、駅周辺に比べ、駐輪場整備のほか、整理・誘導等にも多くの経費を要することから、放置禁止区域の拡大にあわせ、有料化の範囲も拡大せざるを得ないと考えています。</p>
<p>新しい施設の整備</p> <p>○新しい施設などを造ることは賛成だが、都心にばかり集まることがないように札幌市全域を考えてほしい。</p>	<p>都心は、市民だけではなく国内外からも多くの人々が集い、活動する場として、施設整備をはじめ重点的にまちづくりを進めていますが、地域のまちづくりについても、良好な環境となるよう地域の方の主体性を活かしながら進めていきたいと考えています。</p>

政策目標4 みんなで行動する環境の街

意見の概要	市の考え方
<p>環境施策全般</p> <p>○地球温暖化について詳しく知らない人もたくさんいると思うので、もっと呼びかけや地球温暖化について知る機会をつくったら良い。</p>	<p>地球温暖化問題については、温暖化対策関連事業の実施時や、環境広場さっぽろなどのイベント、出前講座、ホームページなどで情報を提供し、広く周知しています。</p> <p>今後も、市民や事業者の方々も一緒に温暖化対策に取り組んでいただけるよう、さまざまな機会を捉えて、より積極的に情報を提供していきたいと考えています。</p>
<p>再生可能エネルギーの普及促進</p> <p>○「学校に太陽光パネルを設置」という計画に賛成。ただ、設置するのにもお金がかからないようにいろいろと工夫する必要がある。</p> <p>○学校に太陽光パネルを設置することで、自然エネルギーを利用することは良い考えだが、学校以外にもいろいろな所に太陽光パネルを設置したほうが良い。</p>	<p>学校屋上への太陽光パネル設置にあたっては、その重さに建物が耐えられるかを十分検討する必要があります。計画では、耐震補強工事に合わせて太陽光パネルを設置していくことによって、工事や設計などを合理的に行い、少しでもお金がかからないように工夫しています。</p> <p>計画では、区役所などの市有施設への率先した導入を進めるとともに、ビルや一般家庭などに向けた補助も充実させていくことで、今後も太陽光発電設備の普及を促進していきます。</p>
<p>ごみ減量・リサイクルの推進</p> <p>○生ごみ資源化システムの実証実験の達成目標では3,000世帯と書かれているが、どういった世帯が対象となるのか具体的に書いてほしい。</p>	<p>実証実験は、効率的な収集が見込まれる大規模集合住宅に居住する世帯などを対象とすることを検討しています。</p> <p>なお、対象世帯が分かるように事業内容の記述を修正します。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>○資源節約のために、リサイクルについての授業や取り組みを増やしてはどうか。</p>	<p>ごみ減量・リサイクルを推進するため、小中学校での総合学習や職員による出前教室、清掃工場やリサイクルプラザなどでの体験的な普及啓発、ホームページでの情報発信などさまざまな取り組みを行っています。今後も引き続き、これらの取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
<p>みどりの保全・育成</p> <p>○都心のみどりを豊かにするだけではなく、都心以外の地域のみどりや花を豊かにすると良い。私たちの学校では毎年春に、道路の脇に花を植えるボランティアをしているが、そのように他の学校の人々も春に花を植えるボランティアをすれば、だんだん花やみどりが増えてくると思う。</p>	<p>児童生徒や保護者、地域の方々がボランティアとして、さまざまな方法でみどりを増やしたり、守ったりするなどの取り組みを行っている学校がたくさんあります。6月に「環境ウィーク」を設定し、みどりを増やすなどの学校の取り組みをホームページ上で紹介しています。このような取り組み事例の紹介を通して、今後も花やみどりを増やすボランティア活動が広がるような支援を行います。</p>
<p>公園の整備</p> <p>○子どもたちや、その親が安心して遊べるように、公園を常にきれいにしたり、危険がないよう、大人が見ている必要があると思う。</p>	<p>公園の管理では、定期的に遊具や施設の点検を行っています。また、日常の清掃や草刈りなどの作業とともに危険箇所を確認しており、安心して遊べる公園を維持できるよう努めていきます。</p>
<p>円山動物園の整備</p> <p>○円山動物園に新しい施設を造るという案について、造っても実際に人気が出ず見る人が少なければ、逆に税金の無駄だと思うので、早急に市民に意見を聞き、造るか造らないか決めたいと思う。</p> <p>○動物園に新しい施設を建設するよりも先に、まずゾウを動物園に連れてきてほしい。動物園といえばゾウなのにゾウがいないととてもさみしい。</p>	<p>施設の整備については、市民の皆さんのご意見をいただいた上で策定した「札幌市円山動物園基本計画」に基づいて進めています。今後もできるかぎり情報提供に努め、市民の皆さんのご意見を参考にしていきます。</p>

政策目標5 市民が創る自治と文化の街

意見の概要	市の考え方
<p>地域活動の場</p> <p>○困ったときに助け合えるよう、コミュニケーションの場にもなるので、地域活動する場所を充実してほしい。</p>	<p>市民の皆さんの主体的なまちづくりを支えるため、まちづくりセンターが置かれている地区会館については、老朽化した既存施設の建て替えや改修などを行うとともに、町内会館など市民集会施設については、建築費補助の充実や家賃補助制度の創設を行うことで、地域活動の拠点整備を推進します。</p>
<p>文化芸術施設</p> <p>○次世代型博物館と遺跡公園「(仮称)古代の里」は、時間が経つにつれ利用する人が減ると思うので、結果的に税金の無駄になるのではないかと心配。</p> <p>○次世代型博物館や遺跡公園などの施設は、札幌の歴史を知ったり、感じたりするには必要だと思う。造るにあたっては、たくさんの税金を使うことになるので、広報活動やイベントで参加型の施設にするなど、飽きない工夫をするべき。</p>	<p>これからどのような博物館や遺跡公園がふさわしいのかを検討していくこととなりますが、いただいたご意見も参考に市民の皆さんに長く利用してもらえる魅力的な施設にしていきたいと考えています。</p>